

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成22年1月14日 (2010.1.14)

【公表番号】特表2009-526574(P2009-526574A)

【公表日】平成21年7月23日 (2009.7.23)

【年通号数】公開・登録公報2009-029

【出願番号】特願2008-554565(P2008-554565)

【国際特許分類】

A 6 1 L 24/00 (2006.01)

A 6 1 L 15/16 (2006.01)

【F I】

A 6 1 L 25/00 A

A 6 1 L 15/01

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月19日 (2009.11.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

出血している創傷のための閉鎖物であって、出血を止めるために創傷に適用するのに適した基質を含み、前記基質に、マトリックスタンパク質、光活性化可能な金属－配位子錯体および電子受容体のうちの 1 つまたは複数を浸透させる、または前記基質を、マトリックスタンパク質、光活性化可能な金属－配位子錯体および電子受容体のうちの 1 つまたは複数以てコートする閉鎖物。

【請求項 2】

マトリックスタンパク質が、フィブリノーゲン、フィブリン、コラーゲン、フィブロネクチン、ケラチンおよびラミニン、またはそれらの混合物からなる群から選択される、請求項 1 に記載の閉鎖物。

【請求項 3】

マトリックスタンパク質が、フィブリノーゲン、フィブリン、コラーゲンおよびフィブロネクチン、またはそれらの混合物からなる群から選択される、請求項 2 に記載の閉鎖物。

【請求項 4】

マトリックスタンパク質が、フィブリノーゲンである、請求項 3 に記載の閉鎖物。

【請求項 5】

光活性化可能な金属－配位子錯体が、Ru (II) 錯体、Pd (II) 錯体、Cu (I) 錯体、Ni (II) 錯体、Mn (II) 錯体または Fe (III) 錯体である、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の閉鎖物。

【請求項 6】

錯体が、Ru (II) ビピリジル錯体、Pd (II) ポルフィリン錯体、スルホナトフェニル Mn (II) 錯体または Fe (III) プロトポルフィリン錯体である、請求項 5 に記載の閉鎖物。

【請求項 7】

錯体が、トリス (ビピリジル) Ru (II) 錯体である、請求項 6 に記載の閉鎖物。

【請求項 8】

錯体が、二塩化トリス（ビピリジル） $\text{Ru}(\text{II})$ である、請求項7に記載の閉鎖物。

【請求項9】

電子受容体が、過硫酸塩化合物、過ヨウ素酸塩化合物、過臭素酸塩化合物または過塩素酸塩化合物である、請求項1から8のいずれか一項に記載の閉鎖物。

【請求項10】

電子受容体が、過硫酸塩化合物である、請求項9に記載の閉鎖物。

【請求項11】

電子受容体が、過硫酸アンモニウムまたは過硫酸ナトリウムである、請求項10に記載の閉鎖物。

【請求項12】

薬物またはその他の治療剤をさらに含む、請求項1から11のいずれか一項に記載の閉鎖物。

【請求項13】

基質が、コラーゲンのシート、包帯、ガーゼ、布、タンポン、膜またはスポンジである、請求項1から12のいずれか一項記載の閉鎖物。

【請求項14】

マトリックスタンパク質と、光活性化可能な金属－配位子錯体と、電子受容体とを含む組成物。

【請求項15】

マトリックスタンパク質が、フィブリノーゲン、フィブリン、コラーゲン、フィブロネクチン、ケラチンおよびラミニン、またはそれらの混合物からなる群から選択される、請求項14に記載の組成物。

【請求項16】

マトリックスタンパク質が、フィブリノーゲン、フィブリン、コラーゲンおよびフィブロネクチン、またはそれらの混合物からなる群から選択される、請求項15に記載の組成物。

【請求項17】

マトリックスタンパク質が、フィブリノーゲンである、請求項16に記載の組成物。

【請求項18】

光活性化可能な金属－配位子錯体が、 $\text{Ru}(\text{II})$ 錯体、 $\text{Pd}(\text{II})$ 錯体、 $\text{Cu}(\text{I})$ 錯体、 $\text{Ni}(\text{II})$ 錯体、 $\text{Mn}(\text{II})$ 錯体または $\text{Fe}(\text{III})$ 錯体である、請求項14から17のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項19】

錯体が、 $\text{Ru}(\text{II})$ ビピリジル錯体、 $\text{Pd}(\text{II})$ ポルフィリン錯体、スルホナトフェニル $\text{Mn}(\text{II})$ 錯体または $\text{Fe}(\text{III})$ プロトポルフィリン錯体である、請求項18に記載の組成物。

【請求項20】

錯体が、トリス（ビピリジル） $\text{Ru}(\text{II})$ 錯体である、請求項19に記載の組成物。

【請求項21】

錯体が、二塩化トリス（ビピリジル） $\text{Ru}(\text{II})$ である、請求項20に記載の組成物。

【請求項22】

電子受容体が、過硫酸塩化合物、過ヨウ素酸塩化合物、過臭素酸塩化合物または過塩素酸塩化合物である、請求項14から21のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項23】

電子受容体が、過硫酸塩化合物である、請求項22に記載の組成物。

【請求項24】

電子受容体が、過硫酸アンモニウムまたは過硫酸ナトリウムである、請求項23に記載の組成物。

【請求項25】

薬物またはその他の治療剤をさらに含む、請求項 1 4 から 2 4 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 2 6】

不活性な担体をさらに含む、請求項 1 4 から 2 5 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 2 7】

マトリックスタンパク質と、光活性化可能な金属－配位子錯体と、電子受容体とを含むキット。

【請求項 2 8】

光源をさらに含む、請求項 2 7 に記載のキット。

【請求項 2 9】

創傷の閉鎖物をさらに含む、あるいはマトリックスタンパク質、光活性化可能な金属－配位子錯体および電子受容体のうちの1つもしくは複数、あらかじめ浸透させた、またはマトリックスタンパク質、光活性化可能な金属－配位子錯体および電子受容体のうちの1つもしくは複数で、あらかじめコートした創傷の閉鎖物を含む、請求項 2 7 または 2 8 のいずれか一項に記載のキット。

【請求項 3 0】

組織を結合させるかつ／または密閉するための医薬品の製造における、マトリックスタンパク質、光活性化可能な金属－配位子錯体および／または電子受容体の使用であって、組織部分に照射して、前記光活性化可能な金属－配位子錯体を光活性化し、それによって、前記マトリックスタンパク質の架橋結合反応を開始させて、前記組織部分を密閉する、または前記組織部分を隣接する組織部分に結合させる使用。